大仙市立太田南小学校　学校報

あかまつ

令和３年度
第43号
令和３年10月27日

《学校教育目標》　夢に向かって 本気で チャレンジ！ 笑顔の花さく 南っ子

あいさつの大切さ　その後

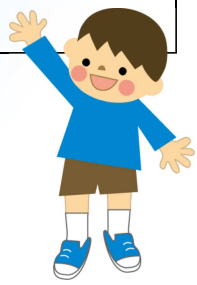
今，子どもたちはあいさつがんばり中です

「あいさつをすることは大切」だと誰でも知っています。「しっている」の小さい「っ」を取ると，「している」となります。大切さは誰でも知っているかもしれませんが，ちゃんと「している」人は案外少ないのかもしれません。さっそく朝の放送で，あいさつの大切さを呼びかけました。

◆朝起きてから学校に着くまで，何人の人に自分からあいさつできるか数えてみよう。

◆教室で「さようなら」を言ってから家に帰るまでに，何人の人に自分からあいさつできるか数えてみよう。

　この二つにチャレンジすることにしています。【家族】【横断歩道で交通指導をしてくれている大人】【集合場所に来てくれている大人】【地域の人】【学校の先生】【クラスの仲間】等，あいさつの輪が広がることを期待しています。



　前号で上記のことを書かせていただきました。すると，25 日（月）の朝，玄関であいさつ運動をしている私に，「校長先生，もうこれで 16 人目です」と明るい笑顔で話しかけてくれた子がいました。金曜日に全校に呼びかけた放送をよく聞いてくれていたのだと思います。保護者の方が家で学校報を読んで，話題にしてくださったのかもしれません。

　今週は，進んであいさつをする子や大きい声であいさつする子が増え，うれしく思っています。太田中の校長先生が学校報 73 号で「本気の三日坊主」について書いていました。「一日もできない人がいるときに，三日続けることはすごいことです」と。なるほどなあと思いました。まずは三日，そしてまた三日と，習慣化するまで続けたら本物です。そのためには，大人が見本を見せること，子どもががんばっていたら，「当たり前のことだから」と見過ごさないで，【大きい声だね】【気持ちのいいあいさつだね】【〇〇（さん），おはよう】【あいさつがんばってるね】と認めてあげることが大切だと考えています。どうか，ご家族の皆様のご協力をお願いします。今，子どもたちはがんばっています。

特別支援教育に関する研究会（スキルアップ研修）がありました

　これは，私たち教員が特別支援教育について学ぶとても貴重な機会です。今，学校現場では特別支援教育の考え方や工夫を，広く様々な場で生かそうという考えが主流になってきています。子どもたち誰もがもっている「分かりたい」「できるようになりたい」という欲求に応えられるよう，私たちも研修を積んでがんばります。

スポーツ集会「５本綱引き」

　運動・環境委員会主催のスポーツ集会がありました。南っこグループが２グループずつ一つのチームとなって「５本綱引き」を競うものです。１試合目は１～３年生，２試合目は４～６年生，３試合目は全員というようにルールを工夫してくれたので，みんな夢中になってがんばりました。このようなお楽しみの集会は，マイクを持つと生き生きと実況する子が現れるなど，学校が盛り上がるきっかけになります。とても楽しい集会でした。